

令和 7 年 6 月 16 日  
(独)家畜改良センター  
熊 本 牧 場

## 飼料用イネの展示ほ場を設置しました。

(独)家畜改良センター熊本牧場(場長:山内 <sup>やまうち ひろし</sup> 洋志)では、国産飼料として生産・利用が拡大傾向にある飼料用イネ(飼料用米・WCS 用稲)の展示ほ場を平成 29 年度から設置しています。

今年は 5 月 29 日に展示ほ場の田植えを実施しました。この展示ほ場では高糖分・極短穂タイプの「つきすずか」、「つきことか」などの稲発酵粗飼料(WCS)向け品種や、飼料用米向け品種等、早晩性の異なる 19 品種(食用品種「ヒノヒカリ」を含む)を並列展示し、各々の品種特性が実物で比較しやすいよう栽培しています。

また、通常の田植えを行った「つきことか」の隣に同品種の直播栽培区も試験的に設け、生育の違いをタイムラプスカメラによる定点観測で記録しています。

### 【展示ほ場主な品種】

・WCS 向け	・飼料用米向け	・兼用種
「つきはやか」、「つきあやか」	「みなちから」、「ミズホチカラ」	「夢あおば」、「北陸193号」
「つきことか」、「つきすずか」		など

展示ほ場の様子については、熊本牧場のホームページ内  
(<https://www.nlbc.go.jp/kumamoto/seed/siryoinetenzio/index.html>)でも定期的に更新していきますので、ご覧いただければ幸いです。

現地説明等の対応は随時受け付けておりますので、希望される方は以下の問い合わせ先までご連絡をお願いします。



昨年10月の収穫前の状況



今年の定点観測の様子(右端が直播栽培区)

### お問い合わせ先

家畜改良センター熊本牧場 担当者: 種苗課 川原、川中

電話: 0968-84-3660 FAX: 0968-84-3708

URL: <https://www.nlbc.go.jp/kumamoto/index.html>

「日本の食卓改良と技術で守ります。」～小さなタネから大きな牛まで